

交渉NEWS

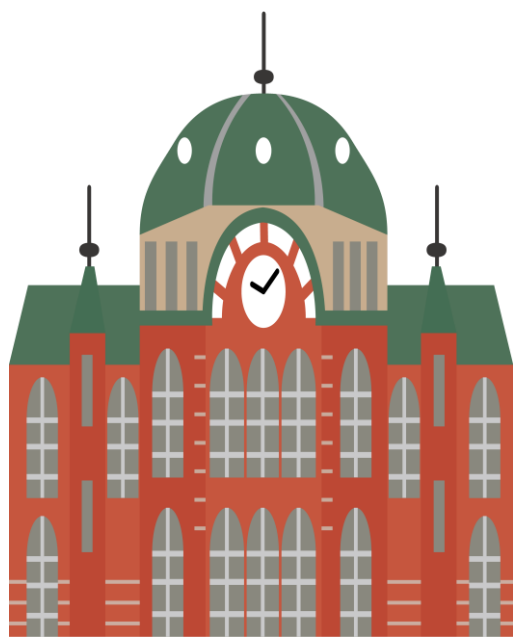
東日本ユニオン東京地本 NO,20 2020年 8月31日

「新型コロナウイルス感染対策に関する第二次申し入れ」提出

8月18日、申13号として「新型コロナウイルス感染対策に関する第二次申し入れ」を東京支社に提出しました。内容は以下の通りです。

★申12号を「緊急申し入れ」として行い、JR東日本東京支社の新型コロナウイルス感染予防対策について、東日本ユニオンから現実に即した問題提起を行い、意見交換しました。しかし残念ながら誰もが初めての課題に直面して、苦慮しているのが現実だと言わざるを得ません。わたしたちが直面している現実と向き合い、具体的にJR東日本を利用されるお客様と業務を担う社員（グループ会社員含む）・家族に安心を提供することが急務の課題だと考えます。

- 1、「命を守る」ために、東京支社として社員指導と職場運営を行うこと。
- 2、新型コロナウイルス感染拡大予防に必要な方策を、手落ちなく実施するために専門部署を東京支社内に設け体制強化すること。
- 3、関係グループ会社に働きかけエルダー社員並びにグループ会社社員にマスクをはじめとした必要な物資を供給すること。
- 4、酔客対応をはじめ接客に関する社員の不安を一掃すること。
- 5、「車内消毒」を実施する場合は、その効力があるものとする。作業を担う社員の感染予防に十分な教育と対策を講じること。
- 6、各職場の共有施設・設備・備品などに関して、医学的観点から感染予防に努めること。また公衆衛生的観点から検証し改善すること。
- 7、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、自宅待機・テレワークを継続すること。またマイプロや各種委員会の活動は休止すること。
- 8、社員が欲する情報を職場で開示し、感染予防に役立てること。



新型コロナウイルス感染は、衰えを見せていません。「三密を避ける」「手洗い・うがいの徹底」「マスク着用」など多くは“個人”による対策でここまで何とか来ています。

治療薬やワクチン開発はまだまだ時間が必要と言われていています。このような状況の中で駅や構内などでJRに関連して日々働いている“仲間たち”大勢います、様々な会社で様々な雇用形態で、JRの安全・安定運行やサービス提供に奮闘しています。「マスク着用します」と宣伝しておきながら3月から“仲間たち”に1枚のマスクも配布していないJR東日本の関連会社も存在します。

東京支社は「仲間たちの命を守るために」これまで以上にリーダーシップを執って奮闘して頂きたいと考えています、要求実現に向け全力でたたかいます！